



# コロンビア研修

—21世紀を生きる「力」の視点から—

---

# 発表内容

1. 研修プログラムについて
2. 実践の観察から見えてきた「生きる力」
  - 2-1. 「相手の立場に立つ力」
  - 2-2. 「質問力」
3. スペイン語話者とのコミュニケーションの実態



# 1. 研修プログラム について

---

テーマ： 「メデジン市における**問題解決**から**学ぶ**」

メデジンとその周辺地域の現状を視察し、アンティオキア大学の教員や学生たち、現場で活動する人々との交流を通して幅広く学ぶことを目的とする。

### 【プログラムの構成】

事前授業：100分 x 6 コマ

海外渡航期間：約10日間

事後授業：100分 x 2コマ

全学部生対象

スペイン語学習経験は問わない

### 【現地でのおもな活動内容】

- ・ 講義
- ・ 見学
- ・ 交流
- ・ 発表

具体的な  
研修内容は  
配布資料

# 実施年度と履修生数

具体的な  
内訳は  
配布資料

年度	履修生数（スペイン語学習歴あり人数）
2019	11人（7人）
2022	6人（1人）
2023	5人（1人）

# 活動別 履修生たちの言語使用・活動状況

活動	誰が？	何語？	履修生の言語活動	どうやって？
講義	・ア大教員 ・日本文化センター 日本人教員	・スペイン語 ・日本語	聴講・質問・コメント	通訳（村上・日本語学習者） 自力（辞書・翻訳アプリ）
見学	施設職員、街の人 掲示物	スペイン語	聴講・質問コメント 読解	
交流	ア大学生、日本文化 センター学生	スペイン語、英語、 日本語		自力（辞書・翻訳アプリその他）
発表	履修生	やさしい日本語  （11月から協働して きた日本語学習者の スペイン語・日本語）	発表 質問への応答	通訳（村上・日本語学習者）

●2016年和平協定成立 FARCとのみ 続く紛争  
23年1月から主要武装勢力と政府が停戦合意

●2022年実質GDP成長率 7.3%

●貧富の差

●都市部の  
2023年

コロンビアの社会状況  
アンティオキア大学の取り組みについては  
配布資料をご覧ください

➤アンテ  
社会心理

農村復興支援（つながりの再生）や武装解除後の社会復帰支援

マーケット

組み

### 3. 実践の観察から 見えてきた「生きる力」



## 研修プログラム全般にわたって「必票」だった「力」

- チャレンジ精神とそれを持続させる力
- 主体的に行動する力
- 目標達成のために必要なことは何か考え、把握する力
- 使用言語に関わらず、その場で可能で適切な方法で相手と分かり合おうとする能力（コミュニケーション力）

事前授業6コマと出発までの学習活動	必要だった力
コロンビアの歴史・社会について分担箇所について調べ、発表をする	リサーチ力、発信力、 <b>「相手」の立場に立つ力</b> 、コミュニケーション力
分担箇所について日本と比較し、発表する	リサーチ力、発信力、比較対照する力
発表者に質問する	批判的精神、 <b>質問力</b> 、メモを取る力
日本の社会的課題を三つ考え、内容と取り組みについて調べる	リサーチ力
グループで現地発表テーマを決める	調整力、発信力／発言力
グループで日本の社会的課題についての発表を作る	協働する力
「やさしい日本語」で発表を作り直す	<b>「相手」の立場に立つ力</b>
(22年度) 翻訳・通訳協力者のコロンビア人日本語学習者とやり取りをする (英語、日本語、(スペイン語))	必要な言語ツールを選択して使う力
日本語とスペイン語の発表を作る	協働する力、計画を立てる力、計画修正しながらやり抜く力
聞き手からの質問や意見、批判を受ける	質問、意見、批判に基づいて修正する力

配布資料  
に  
あり

海外研修 約10日間	必要な力・養成できた力
スペイン語話者とコミュニケーションをとる	積極性、話す内容を想定し準備する力、社会・文化の違いに気づく力、必要な言語ツールを適切に使う力
公共交通機関で町を移動する	社会・文化の違いに気づく力、適切に行動できる力
通訳を介して専門家や現地活動家の話をスペイン語で聞き、質問する。	メモを取る力、 <b>質問力</b>
コロンビア人専門家（教員）や学生たちに日本の社会的課題について、日本語学習者の力を借りて発表する、質問に答える	適切な話し方とは何か分かり実践できる力、 <b>「相手」の立場に立つ力</b>
聞き手からの質問や意見、批判を受ける	質問、意見、批判に基づいて今後の課題を見つける力
現代美術館、「記憶の家」（紛争に関連する資料館）を見学する	必要な言語ツールを適切に使う力、メモを取る力

海外研修 約10日間	必要な力・養成できた力
農村部の復興活動を視察したり、紛争被害者やLGBTQ、青少年保護施設利用者に会い、交流する	<b>「相手」の立場に立つ力、質問力</b>
復興活動地の視察でコロンビア人学生と、また、日本文化センターで日本語学習者と交流する	コミュニケーション力、必要な言語ツールを選択して使う力
<p>トラブルに対応する  (外出先でのスマホ紛失、しつこいナンパ、アジア人だからと写真を撮られる、コロンビアでPCR検査、出入国書類紛失)</p>	(リスクについての)リサーチ力、コミュニケーション力、冷静な判断力、社会・文化の違いに気づく力

事後授業	必要な力・養成できた力
事前に決めた目標が達成できたか考察する	省察する力
現地研修における学び・目標達成について発表する	<b>発信力</b>
仲間の発表を聴き、質問する	批判的精神、メモを取る力、 <b>質問力</b>

# 事例 1 「相手の立場に立つ力」

- コロンビアの歴史・社会について分担箇所について調べ、発表をする
- 「やさしい日本語」で発表を作り直す
- コロンビア人専門家（教員）や学生たちに日本の社会的課題について、日本語学習者の力を借りて発表する、質問に答える
- 農村部の復興活動を視察したり、紛争被害者やLGBTQ、青少年保護施設利用者に会い、交流する

# できごと

- コロンビアやメデジンに関する事前課題で自分が担当していてわかっていることを前提に発表してしまい、他履修生がちんぷんかんぷん。
- アルバイトなど目の前のことを優先したために原稿作成が遅れ、翻訳者の翻訳準備時間が予定の半分に。
- ふだん通りの日本語を使い、翻訳・通訳協力者が発表原稿や質問・コメントなどを理解できず、作業・場のコミュニケーションが停滞。
- 貧困地区を見て「やばい」を連発。

# 学生のコメント

- やさしい日本語で説明することの難しさ
- 「発表パウポを作る段階で、チームメンバーによりそって話し合いの場を設けることができなかつたので、協働が進まなかつた」
- 「発表の内容を決める頃は相手のことを考えていなかつたけれど、当事者の方が聞き手の中に入ると途中で分かつて、薄い内容にしてはいけなかつたと感じました」
- 「発表内容や表現次第では誤解を生むこともあるので、「傷つく人がいないような言葉選び」をすることが重要」



## 事例 2 「質問力」

- 仲間の発表を聞き、発表者に質問をする
- 通訳を介して専門家や現地活動家の話をスペイン語で聞き、質問する。
- 農村部の復興活動を視察したり、紛争被害者やLGBTQ、青少年保護施設利用者に会い、交流する

メモを取る力との連動

# できごと

- 19年度事前授業ではなかなか質問が出ず、各自が自己紹介や発表をして終わり。なぜ質問が出ないのかと尋ねたら、「何を聞いたらいいのかわからない」。

解決策として「メモ作成」＋「全員質問態勢」。自己紹介では次の順番の人が質問。

- 質問から話が弾む（自カスペイン語で、通訳を介して、あるいは介さず）。

# 学生のコメント

- 「人から聞いて学び、自分からインタビューして学べたので80点。でも、もう少し農家の人とかと話したかった」
- 「現地で見たこと、聞いたことをメモして記録に残せた。それに基づいて、コロンビアのことを聞いたり、日本と比較したりできた」
- 「メモの取り方を工夫したら、疑問点が整理できて、聞きたいことがはっきりできた」

# 4. スペイン語話者との コミュニケーションの実態

# 学習歴と交流

心に残っている交流3つと言語・通訳の有無

	通訳	相手	スペイン語使用に関するコメント
2年以上	なし	アンティオキア大教員 街の人、ホテル従業員 アンティオキア大学生	<ul style="list-style-type: none"><li>・思ったより話せて嬉しかったが、返答が完全に理解できないこともあった。</li><li>・友達はスペイン語で質問しているのに悔しかった。</li></ul>
2年	なし  (日本語)	街の人  日本語学習者、日本人在住者	<ul style="list-style-type: none"><li>・簡単な挨拶はもちろん、単語が分からなかったけれど、とにかく話した。</li></ul>
1年	なし  (日本語)	アンティオキア大学生 ホテル従業員  日本語学習者	ホテルの人と雑談したときが一番スペイン語を使えた。わからないときは翻訳機を使った。
自学習	あり  (日本語)	アンティオキア大教員  日本語学習者、日本人在住者	挨拶や自己紹介はできたけど、質問したり答えたり、先生方や学生の話の深くは理解できなかった。

# 学習歴と交流

心に残っている交流3つと通訳の有無

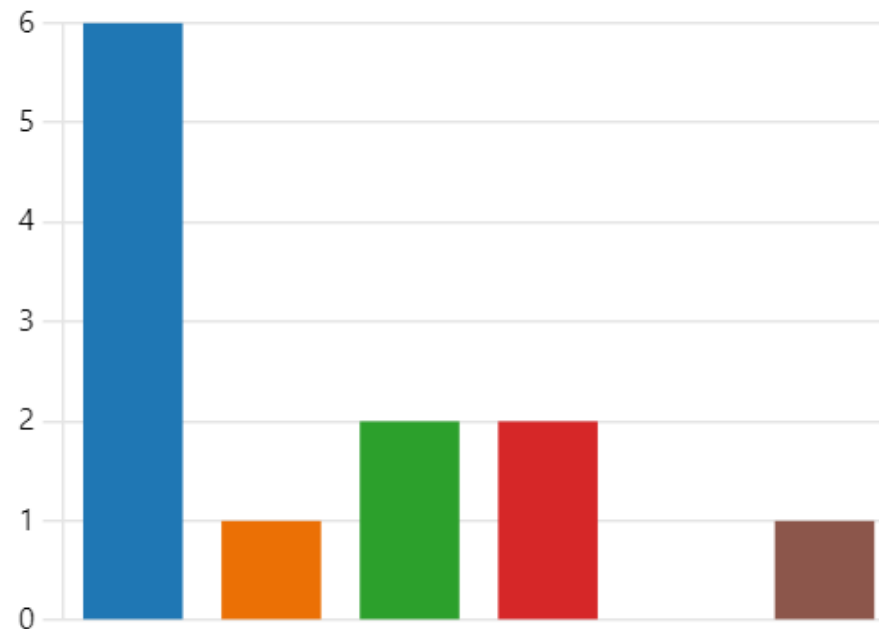
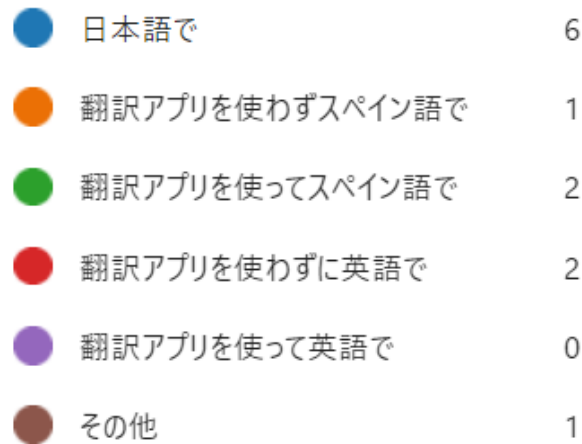
	通訳	相手	コメント
学習歴 なし	あり  (日本語)	アンティオキア大教員 アンティオキア大学生  日本語学習者	後半は覚えたスペイン語のフレーズを、恥じることなく言えるようになった。
学習歴 なし	なし  (日本語)	アンティオキア大学生 ホテル従業員  日本語学習者	ネイルがかわいいと言ってくれたので、自分も相手に何か伝えたくて、次の日準備して言いに行った。

# 翻訳アプリ使用に関するアンケート

22年度生（6人）に対する調査

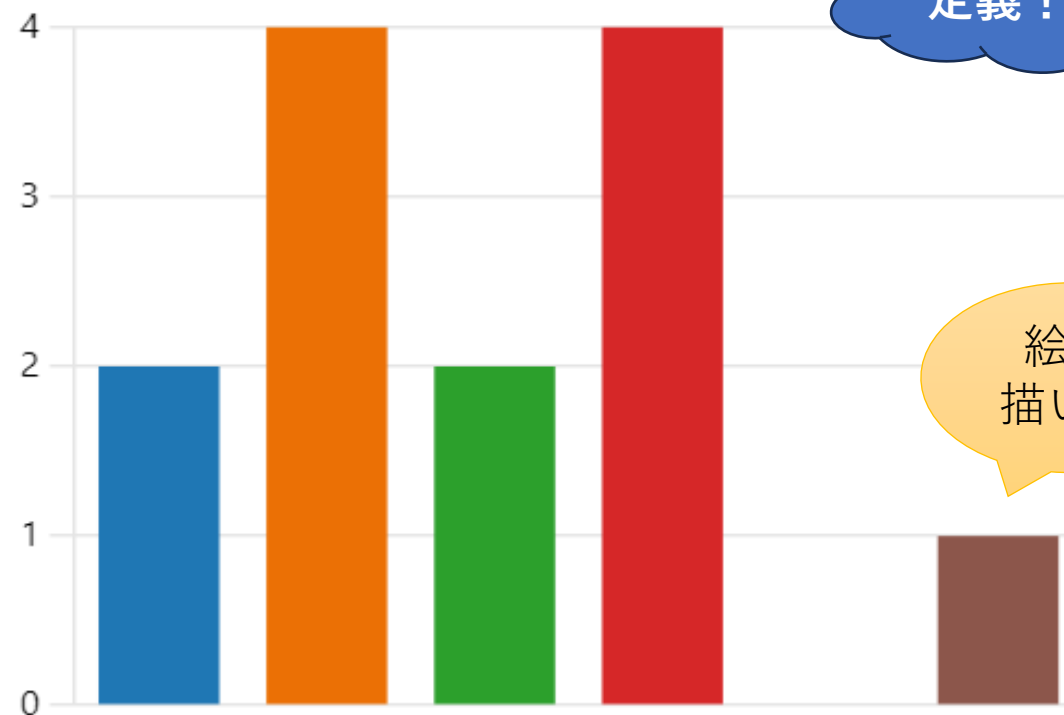
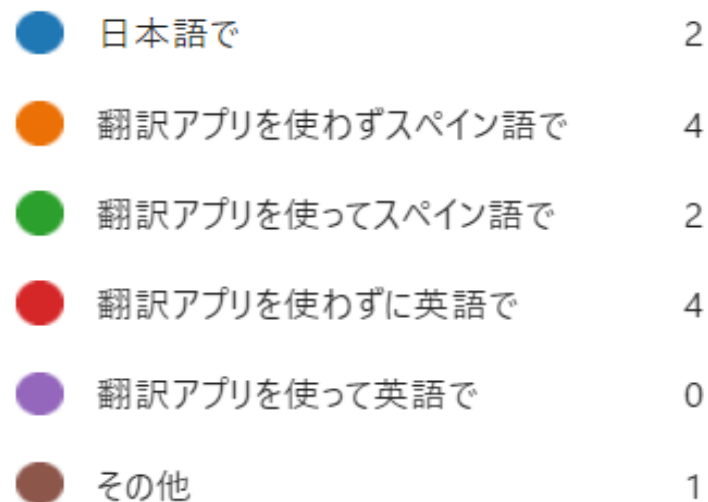
1. メデジン滞在中の機械翻訳の使用
2. 日本語学習者との交流言語

**全員**



# 翻訳アプリ使用に関するアンケート

## 3. 日本語を知らないコロンビア人学生との交流言語



交流の  
定義!?

絵を  
描いた



# 翻訳アプリ使用に関するアンケート

4. 事前・事後授業でも、スペイン語で書かれた何らかの  
情報（資料など）を翻訳アプリを使って内容把握

**全員実施！**

その他のア  
ンケート  
配布資料に  
あり

# 学生のコメント

- 現地でスペイン語でコミュニケーションがとれるよう、コロンビアに行くことが決まったその日から、**コツコツ勉強**したが、現地に行くとなかなか自分から自分の考え、意見をうまく伝えられなかった。
- 日本文化センターでの交流では、**日本手話とスペイン語手話**も使いました。農村訪問の時は、**絵を書いて説明**したりしました。今回の研修を受けて、外国語の授業の重要性を感じました。
- 日本語学習者と一緒に発表原稿のスペイン語訳を考えている時に、異なる言語で同じニュアンスの言葉を見つけるのが難しく、普段私たちが目にして**自動翻訳は本当に伝えたいことではないのかも**しれないと思った。自分で正しい情報を得られ、発信できるように心掛けなければならない。

# 学生のコメント

- 翻訳アプリではコミュニケーションに時間的な間隔が空いてしまうので、**自分で話せるようになる方が良い**と感じました。
- 第二外国語の授業は、必修で学習した方が**面白い**と思います。ただ、英語は、元々出来る人もいるから、必修ではなくても、どちらでも良い気がします。

# おわりに

---

- 海外研修に行って現地で得られることのおかげのなさ
- そこで得られる「力」 教室でも育成できるものも多い
- 語学力は21世紀を生きる力のひとつであることを痛感
- 語学ができるだけでは… 個人の幸せの前提である世界を平和に、社会を豊かに、は達成しづらい。
- みんなが研修に行ける・引率できるわけではない

だから教室でできることを考えましょう！



GRACIAS  
POR SU ATENCIÓN